

田中一村生誕110周年記念 奄美を描く美術展(第17回)



田中一村生誕110周年記念 奄美を描く美術展大賞

帰 還

F15 日本画

上田 泰徳

(東京都)

海亀を題材とした作品で、右奥の小魚、岩の配置など工夫された構図が動きのある画面構成となっている。日本画特有の質感を生かしながら、海中を思わせる色調が心地よく伝わり、海の生命力を感じる。

本 展 会 期：平成30年10月21日(日)～11月18日(日)

《11月7日(水) 休館日》

入場無料

開 館：午前9時～午後6時（最終日、午後4時まで）

会 場：鹿児島県奄美パーク・田中一村記念美術館企画展示室

巡回展 会 期：平成30年12月1日(土)～12月9日(日)

《12月3日(月) 休館日》

入場無料

開 館：午前9時30分～午後6時（最終日、午後3時まで）

会 場：鹿児島市立美術館講堂(B1)



トオ アメ
通り雨

F15 油彩

平野 良光

(徳之島町)

ガジュマルを中心としながら、海中のイメージが重なり、独自の世界観が
つくりあげられている。緻密な描写、画面構成によって樹木の大きさ
や不思議なエネルギーを感じさせる作品である。

優秀賞



キンサクバル
金作原

F12 水彩

丸山 良二郎

(鹿児島市)

奄美特有のしっとりとした森の空気
感がよく描かれている。心地よいト
ーンの中にルリカケスがしっかりと
描き出されており、奄美の森に息づ
いている感じがよく表現された作品
である。

優秀賞



カンチョウ アマギチョウヨナマ

干潮(天城町与名間) M15 油彩

寛 文雄 (伊仙町)

横長の画面に海辺から丘の上の灯台が描かれている作品は、画面手前の海と岩が丁寧に描写されており、岩の質感や水の表現が優れた作品である。

優秀賞



ダチュラ P12 漆(箔絵)

矢崎 朱実 (愛知県)

シンプルな画面構成ながらも色面と線の扱いに神経が行き届いている。素材のもつ独特の色調も相まって、上質な感じが伝わってくる作品である。

優秀賞



ル テン
流 転

F15 日本画

中村 哲郎 (奄美市)

色彩豊かな珊瑚と海をバランスよく構成している。緻密な描写と色彩によって水の動きや透明感が表現されている魅力的な作品である。

優秀賞



ハマユウ スイソウ トオ
浜木綿随想-どこか遠くへ F15 油彩

平 芳子 (奄美市)

植物と人物の描写もしっかりしており、描かれたものの関係性や雰囲気もうまく表現されている。縦の線の表現に現代性も感じる作品である。

佳作・奄美の空賞



チャン
Chan F15 油彩
田河 美紀子 (奄美市)

色調もよく、月の光に照らされて海辺で休んでいる老人の自然なポーズや表情から奄美らしい雰囲気伝わってくる作品である。

佳作・奄美の海賞



ウミ コエ
海の声 F15 アクリル
吉村 英彦 (奄美市)

対象物が、緻密に描かれており、考え抜かれた画面構成や色調、シャープな線による表現によって独自の奄美が描かれた作品である。

佳作・奄美の杜賞



ホウライチク ノダテ チャカイ
(蓬莱竹のある)野立茶会 S15 日本画
重村 敏光 (奄美市)

画面からは繊細さと力強さが感じられる。モノクロと一部色を差し込んでおり、独特の筆触が魅力となっている作品である。

ヤング賞



マリン フレンズ
Marine friends F15 油彩
河田 夏歩 (喜界町)

亀やエイとたわむれる少年の姿を、上から下を見る構図で描かれており、視点のおもしろさや新鮮さを感じる。若者らしい魅力を感じる作品である。

シルバー賞



トキ カサ
時代を重ねて F15 油彩
中野 長子 (奄美市)

緻密な筆触で力強く描かれた作品からは、樹木と対話しながら描いている作者の姿勢が伝わってくるようである。

【審査総評】

奄美らしさ、自然を中心として生活や風景を含めてよくとらえて描かれている作品が多かった。奄美の特徴的なモチーフを生かしながら、対象のとらえ方や画面構成、色彩の工夫されたもの、ユニークなものや幻想的な表現など、多様で魅力的な作品がみられた。

表現方法としては、油彩画、水彩画が多くを占めるものの、日本画や様々な工芸作品も寄せられており、幅広いジャンルによる表現は、奄美をテーマとした新しい表現の可能性を感じさせるものであった。

本展のよりよい発展のために、表面的に奄美を表現するのではなく、出品者の多くがもう一步奄美の中に入り込み、奄美の自然と人々とのかわりを体感し、より深く奄美をとらえ、さらに魅力的な作品の出品を期待しています。

審査員長 西 健吉 (公益財団法人二科会理事)

作 品 名	大きさ	種 類	氏 名	住 所	作 品 名	大きさ	種 類	氏 名	住 所
ショウモト 涼を求めて	43×51	色鉛筆	沖 田 た か 子	和泊町	アキ 葵でる ※	F15	アクリル	岡 山 良 治	龍郷町
イチドイ もう一度行きたい岬	F8	アクリル 画Duo アキーラ	横 矢 真	東京都	アカツチハカ 赤土晩夏ーⅠ	S15	油彩	横 山 秀 和	奄美市
ザンショウ 残像	F15	アクリル	太 栄 子	徳之島町	シマ トビ 島の響き ※	F15	油彩	瀧 田 秀 子	奄美市
サンビヤン 三百年のカシュマル	F15	アクリル	田 畑 カ 子	徳之島町	アマミ モリ 奄美の森	F15	油彩	清 勝 人	奄美市
マツ 真夏のむしろ瀬	F10	アクリル	広 岡 ひ と み	徳之島町	カタ 遠方へ ※	F15	アクリル	池 田 三 樹 子	奄美市
チ フク木トンネルを行く (クマノ)	F15	油彩	福 島 秀 貴	大和村	ヤクチワン 焼内湾Ⅱ	F15	水彩	山 口 明 日 香	宇検村
エスケープ フォー Escape IV	P12	タイル画	手 塚 環	東京都	カイガ アカ ミ 貝殻に紅い実 ※	F10	水彩 ガッシュ	喜 山 弘 二	与論町
アカウネイガン 赤崎海岸	F15	油彩	南 弘 子	与論町	イツシヨクワエンイ 一村終焉の家・初夏 ※	F15	日本画	永 井 浩	愛知県
シヨカ 初夏のムシロ瀬	F15	油彩	小 谷 千 晶	喜界町	ミ 織る ※	F15	日本画	松 原 美 幸	鹿児島市
ウサギに危機迫る	F15	油彩	山 元 翔	喜界町	オンモク クロフタ 沈黙の黒豚	F10	油彩	恵 原 正 継	奄美市
ジュボク 樹木	F15	アクリル	満 英 良	奄美市	アマミ ハナ 奄美の花 ダチュラ ※	44×52	工芸	福 田 信 廣	奄美市
ケンムンの棲みか ※	F15	油彩	渡 洋 子	奄美市	カクロマ ウミ 加計呂麻の海	F15	日本画	前 田 正 樹	神奈川県
フルサト 故郷 (奄美) の夏休み	54×39	切り絵	横 山 眞 為 子	熊本県	マツガ ヤマナミ 松枯れの山並	F15	水墨画	亀 井 純 子	龍郷町
アマミ ヒ 奄美に陽がさす	S10	紙	崎 長 史	千葉県	I LOVE AMAMI 海と空の語り部	F15	アクリル	す ず き あ け み	龍郷町
ネスガタヤマ 寝姿山	F15	油彩	牧 野 ハ ツ エ	伊仙町	クモ ナカ 雲の中で	F15	油彩	小 西 幸 子	奄美市
アカ ハナ ムラ 赤い花に群がる貴婦人たち	F15	油彩	玉 城 邦 子	喜界町	ショウマンクミ 少年の海 ※	F15	洋画	今 村 富 枝	鹿児島市
マヨナカ 真夜中の逢瀬 ※	F15	油彩	吉 嶺 美 智 子	喜界町	ブルーエンジェル	F15	アクリル 画	坂 本 千 春	群馬県
シンバイツタイ 人馬一体 ※	F15	油彩	南 郷 克 幸	始良市	シアワ オトス 幸せの訪れ (さがり花)	F15	アキーラ	水 間 和 代	神奈川県
オダ 穏やかな神宿の夜明け	F15	アクリル	佐 藤 二 三 男	和泊町	アセ ヒラタチヨウ ショウゴのショウタウ 名瀬平田町の集合住宅	F8	油彩	平 井 泰 輔	奄美市
アダン ヤトカリ 阿曇と宿信	F8	油彩	青 柳 綾	熊本県	キラ 輝めく	小全紙	墨彩画	前 島 尚 子	大阪府
スイチュウカンゴフボン 水中観光船「せと」から	F15	油彩	永 見 良 子	大阪府	こうのとりの	F15	水彩	屋 幸 子	奄美市
アマミツ 奄美祭り ※	F15	洋画	森 正 志	鹿児島市	シヨウコン 昇魂 ※	F12	油彩	上 田 康 成	奄美市
ハトス 波渡音 ※	P15	七宝	高 塚 ヒ サ ノ	鹿児島市	アダン	41×62	日本画	竹 井 文 子	福岡県
アマミ セイドウ 奄美の聖堂	F15	油彩	赤 塚 嘉 寛	奄美市	イツシントキ 一瞬の時	F8	水彩	大 川 厚 子	東京都
ツキ コモリウタ 月の子守唄	63×47	水彩	源 五 郎 光	龍郷町	エナジー セル Energy Cell	F15	ミクスト メディア (水彩)	坂 元 蘭	沖縄県